



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和8年度

農村振興部

農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
農村振興部

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務

九州農政局

業務名	農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務
-----	-------------------------

業務別業務名:農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務

九州農政局

[illegible]

[illegible]

事業名	農村振興部					
業務名	農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務					
業務別業務名:農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 1号 ***					
S63003	計画準備					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,0.00人		式	246,200		歩A・単A
	*** S単ー 2号 ***					
S63003	調査結果の点検取りまとめ及び報告書作成					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.30人,0.30人,0.60人,0.00人		式	59,070		歩A・単A
	*** S単ー 3号 ***					
S63003	調査に係るデータ整理等					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.30人,0.30人,0.60人		式	49,560		歩A・単A
	*** S単ー 4号 ***					
S63007	現地踏査					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.70人,0.70人,1.40人,0.00人		式	137,830		歩A・単A
	*** S単ー 5号 ***					
S63007	生物生息状況調査・水田(もんどりトラップ)					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,3.00人,3.00人,0.00人		式	275,400		歩A・単A
	*** S単ー 6号 ***					
S63007	生物生息状況調査・水田(畦畔ぎわタモ網)					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,6.00人,6.00人,0.00人		式	550,800		歩A・単A
	*** S単ー 7号 ***					
S63007	生物生息状況調査・水田(畦畔ぎわ、イネ株)					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,3.60人,3.60人,0.00人		式	330,480		歩A・単A
	*** S単ー 8号 ***					
S63007	環境情報調査・水田、周辺(気象等)					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.60人,0.00人		式	25,500		歩A・単A
	*** S単ー 9号 ***					
S63007	環境情報調査・水田、周辺(水温、水質)					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.90人,0.90人,0.00人		式	82,620		歩A・単A
	*** S単ー 10号 ***					
S63007	環境情報調査・水田、周辺(ほ場環境)					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.30人,0.30人,0.00人		式	27,540		歩A・単A
	*** S単ー 11号 ***					
S63007	環境情報調査・水田、周辺(中干し状況)					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.30人,0.30人,0.00人		式	27,540		歩A・単A
	*** S単ー 12号 ***					
S63007	現地踏査の移動に係る直接人件費					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.36人,0.36人,0.36人,0.00人		式	55,584		歩A・単A
	*** S単ー 13号 ***					
S63007	影響調査の移動に係る直接人件費					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,1.08人,1.08人,0.00人		式	99,144		歩A・単A
	*** S単ー 14号 ***					
S63010	打合せ(着手前、最終)					
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.08日		回	77,430		歩A・単A
	*** S単ー 15号 ***					
S63010	打合せ(中間)					
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.08日		回	64,902		歩A・単A
	*** S単ー 16号 ***					
S63018	現地踏査旅費交通費					
	旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,1日,3時間		式	7,384		歩A・単A
	*** S単ー 17号 ***					
S63023	成果品作成費					
	電子納品版業務報告書作成 1,A-4,600,8cm,0		式	8,436		歩A・単A
	*** S単ー 18号 ***					
S63031	《打合せ(設計旅費・交通費)》					
	《打合せ(設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,		回	728		歩A・単A
	*** S単ー 19号 ***					
S63031	《打合せ(設計旅費・交通費)》					
	《打合せ(設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,		回	728		歩A・単A
	*** S単ー 20号 ***					
S63034	長期中干しによる水田生態系への影響調査旅費交通費					
	《旅費交通費(設計外業宿泊用)》 ライトバン,2日,2時間		式	9,502		歩A・単A

事業名 農村振興部						
業務名 農用地保全のためのピオトープ整備手法等検討業務						
業務別業務名:農用地保全のためのピオトープ整備手法等検討業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S63003	計画準備		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04004	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B)	2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)	2.000	人	42,500	85,000	
	合 計				246,200	算出数量 1,000 式
	単 価		式		246,200	
	*** S単一 2号 ***					
S63003	調査結果の点検取りまとめ及び報告書作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.30人,0.30人,0.60人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.30人				
	5)技師Bの人数	0.30人				
	6)技師Cの人数	0.60人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04004	技師 (A)	0.300	人	62,600	18,780	
R04005	技師 (B)	0.300	人	49,300	14,790	
R04006	技師 (C)	0.600	人	42,500	25,500	
	合 計				59,070	算出数量 1,000 式
	単 価		式		59,070	
	*** S単一 3号 ***					
S63003	調査に係るデータ整理等		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.30人,0.30人,0.60人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.30人				
	6)技師Cの人数	0.30人				
	7)技術員の数	0.60人				
R04005	技師 (B)	0.300	人	49,300	14,790	
R04006	技師 (C)	0.300	人	42,500	12,750	
R04007	技術員	0.600	人	36,700	22,020	
	合 計				49,560	算出数量 1,000 式
	単 価		式		49,560	
	*** S単一 4号 ***					
S63007	現地踏査		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.70人,0.70人,1.40人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名	農村振興部					
業務名	農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務					
業務別業務名:農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.70人				
	5)技師Bの人数	0.70人				
	6)技師Cの人数	1.40人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	0.700	人	62,600	43,820	
R04005	技師 (B) 外業	0.700	人	49,300	34,510	
R04006	技師 (C) 外業	1.400	人	42,500	59,500	
	合 計				137,830	算出数量 1.000 式
	単 価		式		137,830	
	*** S単一 5号 ***					
S63007	生物生息状況調査・水田(もんどりトラップ)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,3.00人,3.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04005	技師 (B) 外業	3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C) 外業	3.000	人	42,500	127,500	
	合 計				275,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		275,400	
	*** S単一 6号 ***					
S63007	生物生息状況調査・水田(畦畔ぎわタモ網)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,6.00人,6.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04005	技師 (B) 外業	6.000	人	49,300	295,800	
R04006	技師 (C) 外業	6.000	人	42,500	255,000	
	合 計				550,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		550,800	
	*** S単一 7号 ***					
S63007	生物生息状況調査・水田(畦畔ぎわ、イネ株)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,3.60人,3.60人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	3.60人				
	6)技師Cの人数	3.60人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04005	技師 (B) 外業	3.600	人	49,300	177,480	
R04006	技師 (C) 外業	3.600	人	42,500	153,000	
	合 計				330,480	算出数量 1.000 式

事業名	農村振興部					
業務名	農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務					
業務別業務名:農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		式		330,480	
	*** S単一 8号 ***					
S63007	環境情報調査・水田、周辺（気象等）		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.60人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.60人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04006	技師（C） 外業	0.600	人	42,500	25,500	
	合 計				25,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		25,500	
	*** S単一 9号 ***					
S63007	環境情報調査・水田、周辺（水温、水質）		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.90人,0.90人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.90人				
	6)技師Cの人数	0.90人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04005	技師（B） 外業	0.900	人	49,300	44,370	
R04006	技師（C） 外業	0.900	人	42,500	38,250	
	合 計				82,620	算出数量 1.000 式
	単 価		式		82,620	
	*** S単一 10号 ***					
S63007	環境情報調査・水田、周辺（ほ場環境）		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.30人,0.30人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.30人				
	6)技師Cの人数	0.30人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04005	技師（B） 外業	0.300	人	49,300	14,790	
R04006	技師（C） 外業	0.300	人	42,500	12,750	
	合 計				27,540	算出数量 1.000 式
	単 価		式		27,540	
	*** S単一 11号 ***					
S63007	環境情報調査・水田、周辺（中干し状況）		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.30人,0.30人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.30人				
	6)技師Cの人数	0.30人				

事業名 農村振興部						
業務名 農用地保全のためのピオトープ整備手法等検討業務						
業務別業務名:農用地保全のためのピオトープ整備手法等検討業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	7)技術員の人数	0.00人				
R04005	技師 (B) 外業	0.300	人	49,300	14,790	
R04006	技師 (C) 外業	0.300	人	42,500	12,750	
	合 計				27,540	算出数量 1.000 式
	単 価		式		27,540	
	*** S単一 12号 ***					
S63007	現地踏査の移動に係る直接人件費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.36人,0.36人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.36人				
	5)技師Bの人数	0.36人				
	6)技師Cの人数	0.36人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	0.360	人	62,600	22,536	
R04005	技師 (B) 外業	0.360	人	49,300	17,748	
R04006	技師 (C) 外業	0.360	人	42,500	15,300	
	合 計				55,584	算出数量 1.000 式
	単 価		式		55,584	
	*** S単一 13号 ***					
S63007	影響調査の移動に係る直接人件費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,1.08人,1.08人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	1.08人				
	6)技師Cの人数	1.08人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04005	技師 (B) 外業	1.080	人	49,300	53,244	
R04006	技師 (C) 外業	1.080	人	42,500	45,900	
	合 計				99,144	算出数量 1.000 式
	単 価		式		99,144	
	*** S単一 14号 ***					
S63010	打合せ(着手前・最終)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.08日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	日			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	2)打合せ	着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.080日				
R04003	主任技師	0.580	人	70,900	41,122	
R04004	技師 (A)	0.580	人	62,600	36,308	
	合 計				77,430	算出数量 1.000 回
	単 価		回		77,430	

事業名	農村振興部					
業務名	農用地保全のためのピオトープ整備手法等検討業務					
業務別業務名:農用地保全のためのピオトープ整備手法等検討業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 15号 ***					
S63010	打合せ(中間)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.08日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ	中間		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.080日				
R04004	技師 (A)					
		0.580	人	62,600	36,308	
R04005	技師 (B)					
		0.580	人	49,300	28,594	
	合 計				64,902	算出数量 1,000 回
	単 価		回		64,902	
	*** S単一 16号 ***					
S63018	現地踏査旅費交通費		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業日帰用) ライトバン,1日,3時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)高速道路往復料金 (税別)	3,690円		深夜時間:0.0		
	3)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	4)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数の入力	1日				
	8)時間区分	3時間				
	9)設計用技師長外業日数	0.000日				
	10)設計用主任技師外業日数	0.000日				
	11)設計用技師A外業日数	0.700日				
	12)設計用技師B外業日数	0.700日				
	13)設計用技師C外業日数	1.400日				
	14)設計用技術員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き					
		1,000	式	3,690	3,690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L					
		1,000	日	2,560	2,560	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド					
		8,100	L	140	1,134	
	合 計				7,384	算出数量 1,000 式
	単 価		式		7,384	
	*** S単一 17号 ***					
S63023	成果品作成費		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1,A-4,600,8cm,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部)	1,000		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)規格区分	A-4		深夜時間:0.0		
	3)枚数区分(枚)	600				
	4)厚さ区分	8cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0,000				
P43438	報告書焼付代 (コピー) A-4以下 600枚					
		1,000	部	7,650	7,650	
P43543	簡易加除式ファイル A 4縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)					
		1,000	冊	786	786	
P43602	C D-R C D-R(記録面色素フタロシアニン)700MB					
		0,000	枚	47	0	
	合 計				8,436	算出数量 1,000 式
	単 価		式		8,436	
	*** S単一 18号 ***					
S63031	《打合せ (設計旅費・交通費)》		回		1,000 回	歩A 当たり算出

事業名 農村振興部

業務名 農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務

業務別業務名:農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	《打合せ（設計旅費・交通費）》			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	一般交通機関				
	9)高速道路往復料金（税別）	0円				
	10)鉄道往復1人当料金（税別）	364円				
	11)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	12)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	13)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	14)ライトバン使用日数	0日				
	16)宿泊料金 1 式当料金（税別）	0円				
	17)宿泊手当 1 式当料金（税別）	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	364	728	
	合 計				728	算出数量 1,000 回
	単 価		回		728	
	*** S単一 19号 ***					
S63031	《打合せ（設計旅費・交通費）》		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ（設計旅費・交通費）》			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	一般交通機関				
	9)高速道路往復料金（税別）	0円				
	10)鉄道往復1人当料金（税別）	364円				
	11)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	12)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	13)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	14)ライトバン使用日数	0日				
	16)宿泊料金 1 式当料金（税別）	0円				
	17)宿泊手当 1 式当料金（税別）	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	364	728	
	合 計				728	算出数量 1,000 回
	単 価		回		728	
	*** S単一 20号 ***					
S63034	長期中干しによる水田生態系への影響調査旅費交通費		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	《旅費交通費（設計外業務宿泊用）》			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	ライトバン,2日,2時間			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)交通機関区分	ライトバン		深夜時間:0.0		
	2)高速道路往復料金（税別）	3,690円				
	3)鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	4)バス往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	5)船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	6)航空往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	7)ライトバン使用日数	2日				
	8)時間区分	2時間				
	9)宿泊料金[全員分合算]（税別）	0円				
	10)宿泊手当[全員分合算]（税別）	0円				
	11)落札率	0.000000				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	3,690	3,690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	2,150	4,300	

九州農政局

[illegible]

令和 8 年度

農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務

特別仕様書

九州農政局 農村振興部 農村環境課

第1章 総則

第1－1条（適用範囲）

令和8年度農用地保全のためのビオトープ整備手法等検討業務の実施に当たっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」によるほか、同仕様書に対する特記事項及び追加事項は、この見積仕様書による。

第1－2条（目的）

本業務は、水田及び周辺水域において、水稻の長期中干しによる水田生態系への影響を把握し、その影響緩和に向けた生物の避難場所の効果的・効率的な整備・維持管理手法及び生態系配慮に関する留意事項等を体系的に整理し、取りまとめるための基礎データを収集し、適切な手法等を検討するものである。

第1－3条（場所）

業務位置は、熊本県球磨郡山江村の水田及び周辺水域であり、別紙1の調査位置図に示すとおりである。

第1－4条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- （1）土地の踏み荒らし、立木伐採、観測施設の破損等に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。なお、現地立入りにあたっては、監督職員等に連絡を取った後、作業に着手するものとする。
- （2）受注者は常に業務内容を把握し、業務中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速やかにこれに応じるものとする。

第1－5条（管理技術者）

- （1）管理技術者は、共通仕様書第1－6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理部門	農業－農業土木、農業－農村環境、農業－農業農村工学、農業－農村地域・資源計画、環境－環境保全計画、環境－自然環境保全、環境－環境影響評価、建設－建設環境
	農業部門	農業土木、農村環境、農業農村工学、農村地域・資源計画
	環境部門	環境保全計画、自然環境保全、環境影響評価
	建設部門	建設環境
RCCM (シビルコンサルティングマネージャ)	農業土木	
	建設環境	
博士	当該業務に関連する学術部門	

※技術士は国家資格(文部科学省所管)、RCCMは民間資格(国土交通省所管)となる。

(2) 別紙2に記載されている割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

第1-6条 (配置技術者の確認)

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

第1-7条 (保険加入)

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業内容

第2-1条 (作業項目及び数量)

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は第2-2条(作業内容)に示すものとする。

業 務 項 目	数 量	備 考
1. 計画準備	1 式	
2. 現地踏査	1 式	
3. 長期中干しによる水田生態系への影響調査	1 式	
4. 調査結果の点検取りまとめ及び報告書の作成	1 式	

第2-2条 (作業内容)

(1) 計画準備

第1回打合せの前に、業務計画の作成及び調査準備を行う。

(2) 現地踏査

発注者と受注者が合同で現地踏査を行い、具体的な生物生息状況調査及び環境情報調査の実施地点等を定める。

実施時期及び実施回数は、長期中干しによる水田生態系への影響調査前の1回とする。

(3) 長期中干しによる水田生態系への影響調査

1) 生物生息状況調査

表1に示す調査対象地点において、生物生息状況の調査を行い、その結果を整理する。調査時期及び対象生物については、表2のとおりとし、対象生物ごとの調査方法や調査項目は以下のアに示すとおりとする。調査の実施時間帯は調査期間をとおして可能な限り揃えること。

表1 調査対象地点

区域	対象地点	所在地	面積 (又は施設規模)	栽培暦等の中干し実施時期 (又はかんがい期間、通水期間)
水田	実証区	山江村山田甲	30a	7月中下旬【長期中干し】
	対照区	山江村山田甲	30a	7月下旬【通常中干し】
周辺水域	隣接排水路(実証区)	山江村山田甲	1.5m深×1m幅	通水期間：通年
	隣接排水路(対照区)	山江村山田甲	1.5m深×1m幅	通水期間：通年
	用水路	山江村山田甲	0.25m深×0.3m幅	通水期間：6月10日～10月20日
	排水路(上流)	山江村山田甲	1.5m深×1m幅	通水期間：通年
	排水路(下流)	山江村山田甲	1.5m深×1m幅	通水期間：通年

表2 生物生息状況調査における調査時期及び対象生物

	内 容
調査時期	1) 中干し実施後・・・・・・ 中干し終了予定日以後2週間の期間内を目安とし、1回実施(調査対象は、水田の実証区及び対照区)
	2) 稲刈り前後・・・・・・ 稲刈りのために落水する前に1回、稲刈り後の落水状態で1回の計2回実施(調査対象は、水田の実証区及び対照区)
対象生物	両生類、魚類、水生昆虫類(特に水生コウチュウ類、水生カメムシ類)、トンボ類(羽化殻)

注：水稻の生育ステージと調査時期は、別紙3のスケジュールイメージを参照のこと。

ア 水田における調査

表1に示す調査対象ほ場(別紙1 調査位置図に示す実証区及び対照区)内においては、表2に示す調査時期及び対象生物について、別表に示す方法により調査を実施する。また、水生生物(両生類、魚類、水生昆虫類等)について落水状態の時は、ほ場内で斃死している個体数等も計測すること。

なお、調査状況や採捕個体の状況が分かる写真撮影を行う。

2) 環境情報調査

表1に示す調査対象地点において、表3の内容について調査を行い、その結果を整理する。調査実施時期は、1) 生物生息状況調査の調査実施時に併せて行うこととする。

なお、調査状況や環境情報の状況が分かる写真撮影を行う。

表3 環境情報調査項目

	項目	記録内容等	調査対象地点別の実施項目	
			水田	用・排水路
日時	調査日	—	○	○
	調査開始時間	当日の調査実施期間について記録	○	○
	調査終了時間		○	○
気象	天気	・調査前日及び当日の情報を記録 ・最寄りのアメダスデータ等により入手	○	○
	気温 [℃] (平均・最小・最大)		○	○
	雨量 [mm] (日合計)		○	○
ほ場等の環境	水温 [℃]	—	○	○
	水質	現地計測：D0、pH、EC、透視度	○	○
	土質 (※)	重粘土、埴土、砂壤土等	○	—
	標高 [m] (※)	調査地点の標高	○	○
	管理状況	畦の除草（草刈り等）、泥上げの状況等	○	○
	用・排水状況	ほ場との接続状況、流量	○	○
	生育状況（水稻）	—	○	—
	水深 [cm]	—	○	○
	耕盤層の深さ [cm] (※)	※江の設置時の深さの検討に必要	○	—
中干し状況	乾燥状態	※乾燥状態の目安 乾燥（ひび割れ有）＜乾燥（ひび割れ無）＜湿潤（足跡残る程度）＜湿潤（靴が沈むくらい）＜湿潤（一部水たまり有）＜湛水	○	—
	中干し開始日	落水開始日時、落水完了日時	○	—
	中干し終了日	注水開始日時、湛水完了日時	○	—

(※) の項目は調査期間内において、1回のみとする。

(4) 調査結果の点検取りまとめ及び報告書作成

- 1) (3) の調査結果について整理を行い、別途農林水産本省が発注する調査事業の有識者委員会（10月及び2月を想定。以下「委員会」という。）等での指導・助言の下で、水稻の長期中干しによる水田生態系への影響と、その影響緩和に向けた生物の避難場所の効果的・効率的な整備・維持管理手法及び生態系配慮に関する留意事項等について整理する。
- 2) 委員会までに調査結果を提出するものとする。また、詳細な日程は、契約後連絡するものとする。
- 3) 上記委員会の指導・助言を反映させたもので報告書を取りまとめ、報告書の要点を簡潔にまとめた要約版も作成する。

第3章 参考資料

第3－1条（参考図書）

参考図書は次表のとおりとする。

番号	資 料 名	数量	備考
1	鳥類に優しい水田がわかる生物多様性の調査・評価マニュアル（（国研）農業・食品産業技術総合研究機構農業環境変動研究センター、平成30年3月）	一式	
2	農村の生物多様性把握・保全マニュアル（農林水産省、平成24年3月）	一式	

第3－2条（貸与資料）

貸与資料は次表のとおりとする。

番号	業務名	数量	備考
1	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	一式	

第3－3条（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第3－1条、第3－2条に示す貸与資料の取扱いは、次のとおりとする。

- （1）参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- （2）参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- （3）貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか、完了検査時に一括返納しなければならない。

第3－4条（業務写真における黒板情報の電子化）

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（1）から（4）によりこれを実施するものとする。

（1）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（2）機器等の購入

- 1）黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2）受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なけ

ればならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

1) 受注者は、(1) の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」(https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/nouhin_youryou/attach/pdf/doboku-27.pdf)によるものとする。

なお、上記1) に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3) に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

第4－1条（打合せ）

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 設計作業着手の段階

第2回 業務中間段階（採捕調査結果の整理段階。10月開催予定の委員会前を想定。）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度、内容について監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、別紙2に記載されている割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1－11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

第5－1条（成果物）

成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- （1）成果物の電子媒体（CD-R等）2部、紙媒体1部。

第5－2条（成果物の提出先等）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

〒860-8527 熊本県熊本市西区春日2丁目10番1号熊本地方合同庁舎
九州農政局農村振興部農村環境課環境保全係

第6章 契約変更

第6－1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- （1）第2－1条に示す、「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- （2）第4－1条に示す、「打合せ」に変更が生じた場合。
- （3）第5－1条に示す、「成果物」に変更が生じた場合。
- （4）履行期間の変更が生じた場合。
- （5）その他

第6－2条（業務スライドの試行）

- （1）本業務は、「建設コンサルタント業務等における賃金等の変動に基づく業務費の変更の取扱いについて（試行）」（令和7年12月17日付け7農振第2167号農村振興局整備部設計課長通知）URL（「<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/index-256.pdf>」）に基づく試行業務である。
- （2）発注者又は受注者は、履行期間内で業務契約締結の日から12月を経過した後に日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により業務費が不相当となったと認めたときは、相手方に対して業務費の変更を請求することができる。
- （3）発注者又は受注者は、（2）の規定による請求があったときは、変動前残業務費（業務費から当該請求時の履行済部分に相応する業務費を控除した額をいう。以下この条において同じ。）と変動後残業務費（変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残業務費に相応する額をいう。以下この条において同じ。）との差額のうち変動前残業務費の1000分の15を超える額につき、業務費の変更に応じなければならない。
- （4）変動前残業務費及び変動後残業務費は、請求のあった日を基準とし、物価指数等に基づ

づき発注者と受注者とが協議して定める。ただし、協議開始の日から 14 日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。

(5) (2) の規定による請求は、この条の規定により業務費の変更を行った後再度行うことができる。この場合において、(2) 中「業務契約締結の日」とあるのは、「直前のこの条に基づく業務費変更の基準とした日」とするものとする。

(6) 予期することのできない特別の事情により、履行期間内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、業務費が著しく不適當となったときは、発注者又は受注者は、(2) ～ (5) の定めにかかわらず、業務費の変更を請求することができる。

(7) (6) の場合において、業務費の変更額については、発注者と受注者とが協議して定める。ただし、協議開始の日から 14 日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。

(8) (4) 及び (7) の協議開始の日については、発注者が受注者の意見を聴いて定め、受注者に通知しなければならない。ただし、発注者が (2)、(6) の請求を行った日又は受けた日から 7 日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受注者は、協議開始の日を定め、発注者に通知することができる。

(9) 業務スライドの試行に係る運用については、(1) に記載の通知に基づくものとする。

第 7 章 その他

第 7-1 条 (定めなき事項)

この特別仕様書に定めなき事項又は本業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙1 調査位置図



別紙2 (第1－5条、第4－1条関連)

【割合】

予定価格算出の基礎となった同表A～Dまでに掲げる額の合計額に100分の110を乗じて得た額を予定価格で除して得た割合とする。ただし、その割合が10分の8.1を超える場合にあっては10分の8.1とし、10分の6に満たない場合にあっては10分の6とする。

業種区分	A	B	C	D
建設コンサルタント業務 (土木関係のもの)	直接人件費の額	直接経費の額	その他原価の額に 10分の9を乗じて 得た額	一般管理費等の額 に10分の5を乗じ て得た額

別紙3 スケジュールのイメージ

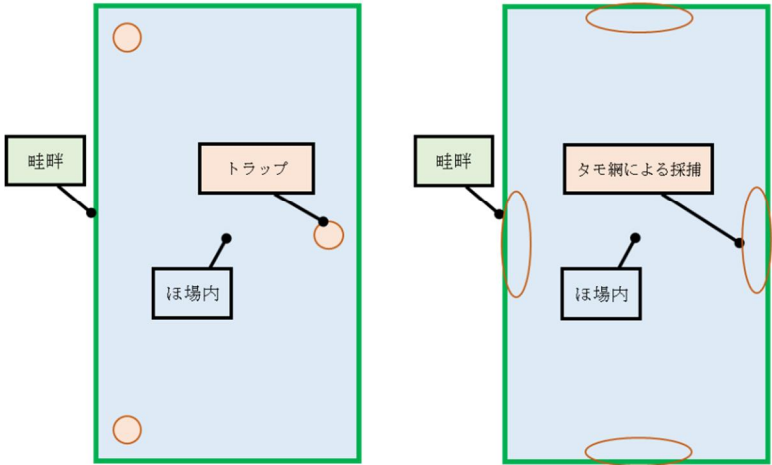
7月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
中干し実施状況																																
生物生息状況調査及び環境 情報調査																																
8月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
中干し実施状況		(~ 中干し実施後の2週間 ~)																														
生物生息状況調査及び環境 情報調査		中干し実施後調査（業者） ①																														
9月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
生物生息状況調査及び環境 情報調査																																
10月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
生物生息状況調査及び環境 情報調査		稲刈り前（落水前）調査（業者） ②																														
		稲刈り後（落水後）調査（業者） ③																														

別表 生物生息状況調査における対象生物分類別の調査手法・方法、用具、記録項目

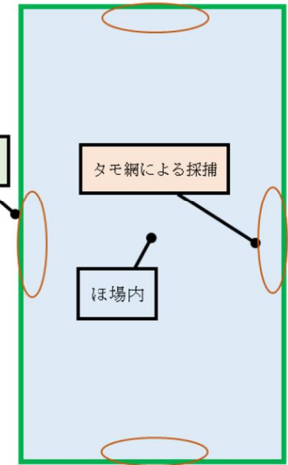
対象生物	調査手法	調査用具	調査方法	記録項目
魚類	トラップを用いた採捕調査	もんどりトラップ	・ほ場1筆につき3個のトラップをそれぞれ畦畔から50cm程度離れた場所に設置（調査方法のイメージ、図A）し、設置から24時間後に回収する。（水口、水尻付近など流れがある場合は、トラップの入り口が下流側に向くように設置。それ以外は任意。）	種類、個体数、サイズ、成長段階、雌雄の別
両生類	トラップ等を用いた採捕調査	もんどりトラップ、魚用タモ網	・トラップについては、魚類と併せて行う。 ・ほ場1筆につき4か所（図B）それぞれにおいて、畦畔ぎわを20m調査する。	※両生類についてのみ確認場所（水中or陸上）を付記
水生昆虫類 （特に水生コウチュウ類及び水生カメムシ類）	水中すくい取り	魚用タモ網	・ほ場1筆につき4か所（畦畔4辺のそれぞれ1か所ずつ、図B）それぞれにおいて、畦畔とイネ株1株目の間を1m分すくうこと2回又は5回繰り返して調査する。なお、水生コウチュウ類では5回、水生カメムシ類では2回繰り返す。	
トンボ類 羽化殻	畦畔ぎわ及びイネ株見取り	—	・ほ場1筆につき4か所（図B）それぞれにおいて、畦畔ぎわから3株目まで（図C）のイネ株を畦畔に沿って20m調査する。畦畔から見える側のみの確認とし、畦畔ぎわの雑草に残っているものや水面に落ちているものも数える。	種類、羽化殻数

（参考）鳥類に優しい水田が分かる生物多様性の調査・評価マニュアル（2018年3月、農研機構）

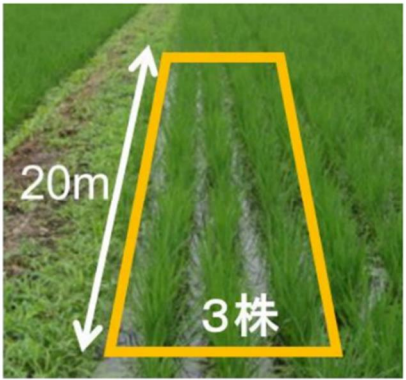
別表の付図 調査方法のイメージ



図A 魚類及び両生類調査のトラップ設置位置（3地点の場合） 水口及び水尻の近辺にそれぞれ1地点、水口及び水尻と反対側の長辺を2分割した際の分割点の合計3地点に設置する。畦畔からは50cm程度離す。



図B 両生類及び水生昆虫類調査のタモ網による採捕調査範囲（4か所）のイメージ



図C 見取りをする位置



（図A、B、Cの出典）鳥類に優しい水田が分かる生物多様性の調査・評価マニュアル（2018年3月、農研機構）を基に作成